

企業
Nagasaki
推進事業

最優秀賞賞金

★★★★★
300万円

★★★★★

目次

1.「ミライ企業Nagasaki」プログラム	1
2.「ミライ企業Nagasaki推進事業」について	2
3.基調講演のご案内	3
講演者：株式会社LAplust 創業者/取締役 COO 原崎 芳加 氏	
4.投資家・審査員のご紹介	4



1.「ミライ企業Nagasaki」プログラム

1 開会式 13:00～13:05

主催者挨拶:長崎県知事 大石 賢吾

2 チャレンジ部門プレゼンテーション 13:15～14:54

チャレンジ部門 概要説明

	時間	法人名(チーム名) 【推薦ビジコン】	代表者	ビジネスプラン名
1	13:15～ 13:26	VICSS株式会社	池田 成諒	NutrAI(ニュートレイ) - AIを用いた次世代の栄養管理プラットフォーム-
2	13:26～ 13:37	福島 茉宙 【Start Up 99】	福島 茉宙	海の恵みを農業へ ～プランクトンで畑を元気に～
3	13:37～ 13:48	Infinite THinkers 【長崎学生ビジネスプランコンテスト】	松尾 康佑	Bamboo Nexus Project
4	13:48～ 13:59	Power Cycle Labo+ 【COMPASS SUMMIT 2025】	椿崎 仙市	シニアエキスパート集団『C-Team.』結成。
5	13:59～ 14:10	兼子漁具株式会社	兼子 修治	老舗漁具屋の挑戦!! 海洋ゴミリサイクルで持続可能な清掃活動を支援
6	14:10～ 14:21	CHOKU 【東彼杵町ビジネスプランコンテスト】	藤村 直	日本一のお茶をPR! お茶漬け専門店「そのぎ茶飯(さはん)」
7	14:21～ 14:32	岸川 桃子 【しまチャレ2024】	岸川 桃子	島民とつくる新しい離島教育
8	14:32～ 14:43	山口 真尋 【松浦市ビジネスプランコンテスト】	山口 真尋	ウロコを活用して作るハンドクリーム
9	14:43～ 14:54	BeforeCreate	小池 勇琉	長崎の平和資産への聖地巡礼を促すレースゲーム

3 スタートアップ部門ピッチ 15:05～16:32

スタートアップ部門 概要説明

	時間	法人名	登壇者	サービス名称
1	15:05～ 15:21	株式会社Flight PILOT	川上 貴之	ドローン及びエアモビリティ事業
2	15:21～ 15:37	Tooon株式会社	杉山 裕磨	フリーランス向けオールインワンツールTooon
3	15:37～ 15:44	株式会社SCMバイオメディカ 動画参加	田中 義正	副作用が少なく奏効率の高い 新規がん免疫治療の開発と提供
4	15:44～ 16:00	株式会社レボーン	松岡 広明	「におい」のAI・DXソリューション
5	16:00～ 16:16	LIFE・DESIGN株式会社	勝矢 圭一	『書かない』が変えるケアの質 ～カメラとAIで紡ぐ介護の新風景～
6	16:16～ 16:32	wavelogy株式会社	道上 竣介	漏水調査ソリューション「SuiDo」

4 基調講演 16:45～17:30

株式会社LAplust 創業者/取締役 COO 原崎 芳加 氏

5 表彰式 17:30～17:45

最優秀賞、優秀賞、首都圏チャレンジ賞(両部門)、十八親和銀行賞、KTN賞、九州ニュービジネス協議会長崎地域委員会賞

6 閉会挨拶・講評 17:45～17:50

株式会社十八親和銀行 副頭取 小林 智

2. 「ミライ企業Nagasaki推進事業」について

1 「ミライ企業Nagasaki推進事業」とは？

「ミライ企業Nagasaki推進事業」は、長崎県と株式会社十八親和銀行が連携し、長崎県内での新たなビジネス創出を支援することを目的としている事業です。長崎のミライを創っていく長崎県民のための新規事業創出促進事業で、これからスタートアップの起業を目指す方や起業間もない方々のアイデアを専門家が伴走支援することで、より実効性の高いビジネスモデルを創り上げていく「チャレンジ部門」、スタートアップ企業の成長に必要な資金調達を支援する「スタートアップ部門」に分けて実施します。

2 チャレンジ部門およびスタートアップ部門について

チャレンジ部門

実施目的	起業する方や新たに事業展開を考えている方のビジネスアイデア構築支援
参加対象	・事業開始前のビジネスプラン・アイデアを持ち、概ね1年以内を目途に県内で事業化を予定している方 ・県内で開催されたビジネスプランコンテスト主催者からの推薦を受けた方
スケジュール	昨年11月20日～12月25日にエントリー期間を設け、一般公募には全国から15件の応募がありました。本年1月14日に実施した選考会で厳正な審査を行い、3組を選定いたしました。また、今年度、県内で開催された6つのビジネスプランコンテストのグランプリ受賞者6組が推薦されました。
インセンティブ	・最優秀賞300万円 ・優秀賞100万円 ・首都圏チャレンジ賞(渋谷QWS1年間利用権) ・九州ニュービジネス協議会長崎地域委員会賞(長崎県ビジネス支援プラザ入居権)

スタートアップ部門

実施目的	投資家とスタートアップのマッチングによる資金調達支援
参加対象	・既に事業を開始しており、ベンチャーキャピタル(VC)からの資金調度を希望するスタートアップ
スケジュール	昨年11月20日～12月25日にエントリー期間を設け、全国から11件の応募がありました。本年1月14日に実施した選考会で厳正な審査を行い、6組を選定いたしました。
インセンティブ	・ベンチャーキャピタル(VC)・投資家からの事業ブラッシュアップに向けた助言及び資金調達に向けた交渉権 ・首都圏チャレンジ賞(首都圏での事業説明の機会を提供) ・十八親和銀行賞(ダイアゴナルラン長崎FREE DESKシングルプラン1年間入居権) ・KTN賞(KTN番組内で紹介)

3 本イベントについて

チャレンジ部門

現在検討しているビジネスアイデアについて、各組5分間でプレゼンテーションを行い、その後、審査員と5分間の質疑応答を行います。

スタートアップ部門

自社の概要やビジネスモデルについて、各社7分間のピッチを行い、その後、投資家から8分間の質疑応答を行います。自社のビジネスモデルを積極的にアピールしていただきます。

3.基調講演のご案内



株式会社LAplust
創業者/取締役 COO

原崎 芳加(はらさき よしか)氏

2013年、佐世保高専電気電子工学科(水中ロボットの高機能化に関する研究)卒業。2017年、東京農工大学大学院博士前期課程修了(光を用いた非接触生体計測に関する研究)。2017年から約5年間、横河電機株式会社にて産業向けAI/IoTのサービス企画・新規事業開発および新会社の設立に携わる。

2019年、株式会社LAplustを東京で創業。製造業や農業を中心にAIの研究開発を推進。2022年に長崎へ拠点を移す。「真の知能を実装し、社会活動を根底から支える」ことを企業ミッションとし、少数データで高精度なAIモデルを作成可能な画像解析AI構築ソフトウェア「LA-Eye」を中心に県内外の企業と協業を行い、多岐にわたる産業分野の社会課題の解決に取り組み、人の可能性を最大化していくための取り組みを進めている。

■会社概要

会 社 名 : 株式会社LAplust

U R L : <https://laplust.com/>

所 在 地 : 長崎県長崎市西坂町5-16

設 立 : 2019年 4月 8日

代表取締役社長 : 田中 宏樹

C E O

4.投資家・審査員のご紹介

(お名前五十音順)

日本ベンチャーキャピタル協会
監事

阿部 博

- ・有限責任 あずさ監査法人 常務執行理事 企業成長支援本部 インキュベーション部長 パートナー
- ・KPMGジャパンプライベートエンタープライズセクター スタートアップ統轄パートナー
- ・ベンチャー企業に対するIPO支援だけでなく、インキュベーション活動として大学発スタートアップの発掘・育成・支援及び産官学のエコシステム構築支援に注力。大学の産学連携組織と協力し大学における技術シーズのイノベーション(社会実装)のための支援活動を行っている。更にJST及び内閣府のスタートアップ支援活動にも参加し、監査法人として大学・スタートアップ・政府官公庁を結ぶエコシステムの構築に力を入れている。



株式会社FUNDINNO
FUNDINNO事業本部パートナー

荒木 浩明

大学卒業後、ベンチャーキャピタルの(株)ジャフコ(現ジャフコグループ(株))、イノベーション・エンジン(株)で19年間ベンチャー投資・支援業務に携わる。その他に認定事業再生士として8年間、中小企業の事業再生コンサルティングを行う。2018年にFUNDINNOにJOINし、30社以上のスタートアップの資金調達を支援。



株式会社MTG Ventures
代表パートナー

伊藤 仁成

愛知県名古屋市出身。経営学修士(MBA)。証券会社で未上場の投資銀行業務、スタートアップでIPO実務や投資・M&A、ベンチャーキャピタルで投資や成長支援、複数のCVC立上げに貢献。2020年から現職。2022年地域課題の解決を目指す起業家を支援するシードファンドを設立。2年で40都道府県をまわり、25社に投資。スタートアップと共に新産業の創造を目指す。



早稲田大学ベンチャーズ
代表取締役

太田 裕朗

早稲田大学ベンチャーズ代表取締役。Blue Laser Fusion Inc. 共同創業者、取締役CTO。京都大学博士課程修了後、ローム株式会社、京都大学大学院航空宇宙工学専攻、カリフォルニア大学サンタバーバラ校にて研究に従事。帰国後、マッキンゼーを経て、2016年より株式会社ACSL参画、2018年12月に同社を東京証券取引所に上場。現在の投資先に、株式会社Nanofiber Quantum Technologies、株式会社Power Diamond Systems、株式会社Quanmatic、Blue Laser Fusion Inc.。京都大学博士。



京都大学イノベーションキャピタル
代表取締役社長

楠美 公

1989年、現(株)三井住友銀行入行。同行にて、主として法人の資金調達を担当。各法人毎のニーズを分析し、社債、流動化、シンジケーション等を活用したソリューション提案型の業務を行ってきた。2007年から、現・SMBCベンチャーキャピタル(株)(旧・大和SMBCキャピタル(株))にてPrivate Equity部門ヘッドとしてバイアウトファンドを運営。上場企業を含む複数の投資先企業の社外取締役、常勤顧問として経営に参画。2013年4月から、京都大学にて大学発スタートアップ支援スキームの制度設計を行い、京都大学イノベーションキャピタル(株)設立を主導。2014年12月(同社設立時)に執行役員投資部長、2020年4月に代表取締役社長に就任。1989年3月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業。

日揮株式会社
マネージャー

坂本 惇

日揮株式会社(現 日揮ホールディングス株式会社)入社後、“エンジニアリング”、“事業開発”及び“経営企画”の三本柱でキャリアを積む。

現在は経営企画、事業開発部門のマネージャーとして、中期経営計画策定、M&A、新規事業開発等の幅広い分野を担当。また、2021年4月より運用が開始された「日揮みらい投資事業有限責任組合」の企画・立ち上げを行い、スタートアップとの連携を推進するCVCフロントチームリーダーを務める。



QBキャピタル合同会社
代表パートナー

坂本 剛

1989年九州大学工学部卒業。大企業・中小企業・ベンチャーを経験し、2004年から九州大学知的財産本部において大学発ベンチャー支援を行う。2010年に九大TLO代表取締役役に就任。2015年にQBキャピタル代表パートナーに就任し、九州地域の大学発ベンチャーを支援するファンド「QBファンド」の運営を開始。2021年に2号ファンドを設立。事業構想大学院大学教授、エディア社外取締役など。講演多数。



株式会社ジャパネットホールディングス
経理財務本部 執行役員

白壁 剛志

1980年福岡県生まれ。東京大学卒業後、大手監査法人事務所にて公認会計士として勤務。その後2018年にジャパネットホールディングスへ入社。

資産戦略、経理戦略部門の責任者を経て、現在はCEOプロジェクト本部 経営企画室 ゼネラルマネージャーとして決算やM&A対応など経営管理業務全般に従事。



QXLV(クオントムリープベンチャーズ)
アソシエイト

高井 志保

1986年神奈川県横浜市生まれ。ヤフー株式会社で新規事業(Yahoo!クラウドソーシング立ち上げなど)、米スタートアップの日本チーム立ち上げ等、IT系企業でのビジネス開発に従事。2017年に社員数10名ほどのAIスタートアップに入社すると同時に、広報PR・マーケティングにキャリアチェンジ。シリーズA～CまでのAIスタートアップ複数社で経験を積み、2022年2月に独立系VCのQXLV(クオントムリープベンチャーズ)に入社。投資業務を中心に、投資先の広報支援も従事。早稲田大学政治経済学部卒。



GxPartners LLP
代表パートナー

中原 健

2003年国民生活金融公庫（現日本政策金融公庫）入社。2013年福岡創業支援センターに着任。スタートアップ向けの資本性ローン案件を九州で初適用するなどスタートアップへの関わりを持つ。公庫在任中からコミットしていた一般社団法人Startup GoGoでの活動が転機となり公庫退社。2019年よりGxPartnersとしてキャピタリスト活動をスタートさせる。リスクマネーの供給だけでなく、販路の開拓や公庫勤務時に培った経験を生かしたデット調達を含めたファイナンスのサポートを行っている。

趣味：マンガを読むこと。最近のお気に入り：ワールドトリガー。



ベータ・ベンチャーキャピタル
代表取締役パートナー

林 龍平

住友銀行、シティバンク、エヌ・エイを経て、2004年ドーガン参画。主にベンチャー支援業務に取り組み、2017年当社設立、代表就任。5本総額80億円のベンチャーファンド立ち上げを行い、これまでに約35件の投資を行ったほか、起業家支援のためのコワーキングスペース「OnRAMP」を開設、九州の起業家のコミュニティ形成支援を行っている。福岡県出身・九州大学法学部卒。一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 常務理事 地方創生部会長。

株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
取締役副社長

山口 泰久

1986年九州大学卒業後、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）に入行。2006年社内ベンチャーとして知財開発投資（株）を設立し、本邦初の「知財開発ファンド」運用開始。その後、同社をDBJキャピタル（株）に改組し、取締役投資部長や取締役マネジングディレクターを歴任。2012年より文部科学省STARTプロジェクト（現JST・STARTプログラム）代表事業プロモーター就任（現任）。2017年5月より（株）FFGベンチャービジネスパートナーズに移籍し、「九州・大学発ベンチャー振興会議」と連携する「FFGベンチャーファンド」の運用を開始。2018年4月より、同社取締役副社長に就任。2019年4月に「九州オープンイノベーションファンド」を設立し、投資委員を兼任。

